

鳥取県アマチュア無線赤十字奉仕団による全国無線非常通信訓練 実施報告



日 時 令和3年10月17日（日）13:00～16:00
会 場 伯耆国分寺跡
参 加 鳥取アマチュア無線赤十字奉仕団
倉吉アマチュア無線赤十字奉仕団
米子アマチュア無線赤十字奉仕団
日本赤十字社鳥取県支部

訓練日程

11:00～12:00	会場設営
13:00～14:00	赤十字アマチュア無線との交信
14:00～16:00	一般アマチュア無線との交信
16:00～17:00	会場片付け

訓練目的

全国のアマチュア無線関係者との無連通信を通して、非常時において県内に3団あるアマチュア無線赤十字奉仕団が協働のうえ、無線局の運営体制を確立すること。

訓練結果

交信件数 80件

(内訳：鳥取アマ 14件、倉吉アマ36件、米子アマ30件)

開催に向けての準備等

1 業務連絡会議の開催

【第1回】

日 時 令和3年5月30日（日）13：30～15：30
会 場 日本赤十字社鳥取県支部 奉仕団室
内 容 開催日時、会場等の全体スケジュールを協議。

【第2回】

日 時 令和3年6月27日（日）13：30～15：30
会 場 倉吉市役所本庁舎 第一会議室
内 容 訓練実施要項、使用資機材等を協議。使用会場の下見。

【第3回】

日 時 令和3年10月3日（日）14：30～16：30
会 場 上井コミュニティセンター 第4会議室
内 容 訓練当日の動向を協議。

【第4回】

日 時 令和3年10月31日（日）15：00～17：00
会 場 伯耆しあわせの郷 多目的研修室
内 容 訓練の反省、今後の展開を協議。

開催に向けての準備等

2 会場（史跡：伯耆国庁跡法花寺畠遺跡）の使用にあたり
倉吉市教育委員会文化財課と協議を行い、現状変更（テント設置等）の許可を得た。
(令和3年9月15日付受教文第484号倉吉市教育委員会教育長通知)

3 プレスリリース

県政記者室、日本海新聞中部本社、TCC鳥取中央有線放送に配布。
倉吉市のホームページに掲示。（倉吉市総務部防災安全課の協力により）



【第1回業務連絡会議の様子】

鳥取県アマチュア無線赤十字奉仕団による全国無線非常通信訓練

準備資機材

機関	資機材	個数	備考
アマチュア無線 赤十字奉仕団	VHF 帯、UHF 帯一式	1	鳥取 144、430MHz (移動用、連絡用)
	HF 帯一式	1	米子 7MHz
	移動局	1	倉吉
	ポール一式	2	鳥取 (8m×1、12m×1)
	ログ一式	1	倉吉 (紙運用)
	サブ無線局	適数	現場連絡用
日本赤十字社 鳥取県支部	エアテント	1	破損ホースの代用を病院借用 (原子力テント用)
	ワンタッチテント	2	病院から返却
	発電機	2	2800 (ヤマハ), 2400 (ホンダ)
	ホワイトボード	1	
	長机	4	
	イス	10	
	延長コード	3	ドラム式
	テーブル	2	
	どこでもシート、マーカー	適数	
	奉仕団のぼり旗	3	
	モバイルバッテリー	1	57600mAh

全員でエアテントの展開



無線設備等の展開が続く



テント内の資機材配置が進んでいく



訓練開始前から、交信が相次ぐ

【原田オペレーター（1番手）】



【松本オペレーター（2番手）】



訓練開始から訓練終了まで交信が途切れるることはなかった

【山本オペレーター（3番手）】



【大丸オペレーター（4番手）】



訓練中の様子

(ホワイトボードシートや蓄電池も使用)



(パソコンや車両設置の無線局との連携する場面も)

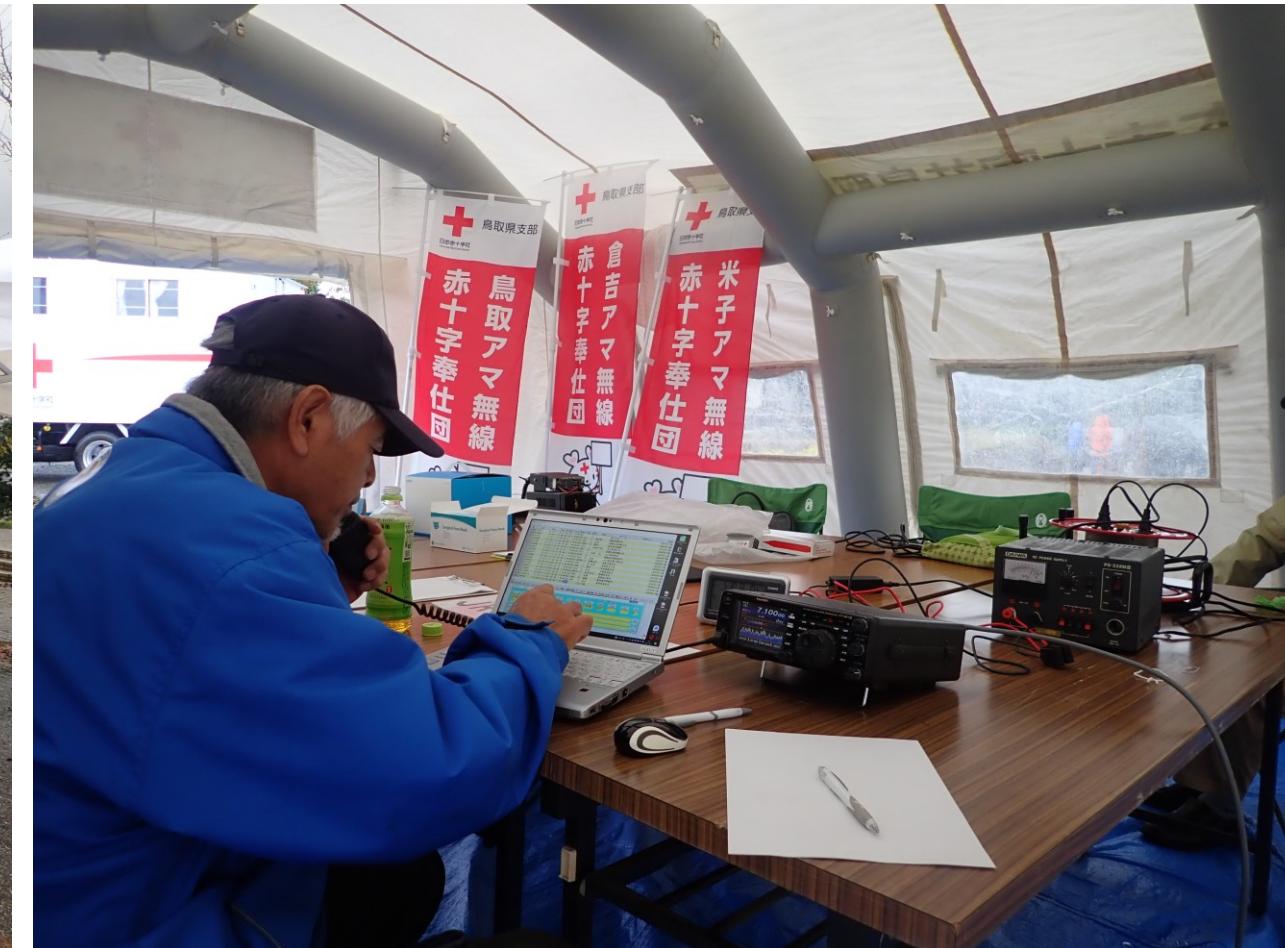


訓練中の様子

(ワンタッチテントが破れて、
急遽代用テントへの資機材移動が発生)



(全員がトラブル対応する中、
一人で交信をまわす松本オペレーター)



その他

(前日に届いたばかりの各奉仕団のぼり旗)



(オフショット)



(当日の豪雨に苦笑いの長田課長)



片付けの様子

